

③ 株式会社富士テクニカルリサーチ

3D レーザー計測データ CAD 化ソフトウェア

「Galaxy-Eye」



株式会社
富士テクニカルリサーチ
Fuji Technical Research



Galaxy-Eye

3D レーザー計測器から得た大規模な計測データを軽快に処理するソフトウェアです。点群の合成から CAD 化やシミュレーションまで多彩な機能を搭載しており、現場以外の場所からでもチェックやメンテナンス業務などの様々な検討を容易に行うことができます。

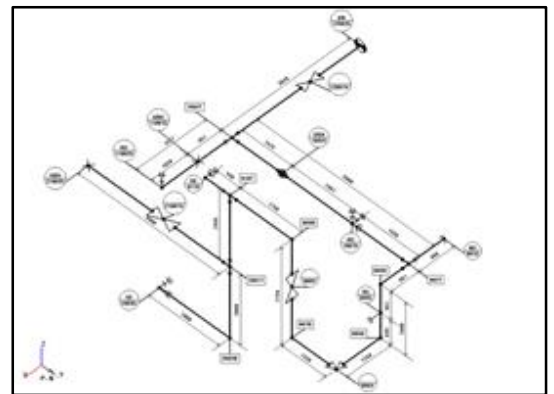
現場以外の場所からでもチェックやメンテナンス業務などの様々な検討を容易に行うことができます。

■ プラント用途例

現場の 3D モデル化
耐震バックチェック
廃炉ボリューム検討

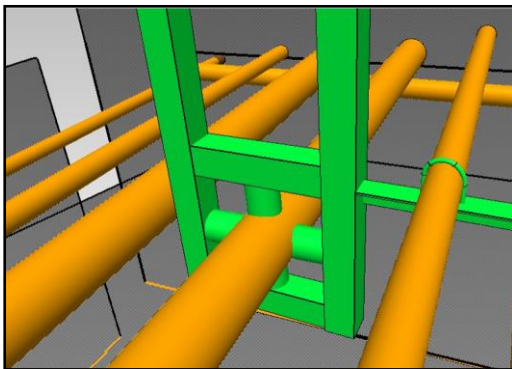
CAD 化機能は JIS 等の規格で製作された配管や平面を短時間でオートマチックに CAD 化します。作成した CAD モデルは他の CAD や FEM 解析用のモデルとして出力可能です。また他社製 3 次元プラント設計システムへの出力を可能とし、そのシステム上で設計変更や積算などが行えます。

一方、シミュレーション機能では、CAD 化せずに点群のまま、搬出入物の干渉チェックや工場やプラント内のレイアウトを検討することができます。



スケルトン図

現在開発中のバージョン 3.4 では、配管サポート CAD 作成が可能となります。規格に準拠した基本形状のサポートはもちろん、基本形状以外のサポート形状作成も容易に行うことができます。耐震バックチェックの補強用追加サポートや、補修・交換にともなうサポート形状変更等のレイアウト検討も可能となりました。



配管サポート CAD

その他にも、配管口径の一括変更機能や CAD 出力形式の強化にも取り組んでおります。

機器展示では、実際に本ソフトの操作が可能となっておりますので是非皆様のお声をお聞かせください。

今回の発表では、上記のような基本機能から、その他点群データを有効活用した応用・適用事例をご紹介します。

連絡先：営業部 北村 / TEL : 045-650-6650 / MAIL : galaxy@ftr.co.jp